

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

長浜市立高月小学校 教諭 今井伸哉

1. 単元名 「高月町の魅力を発信しよう！」 ～高月町のよさを広めるためには？～

2. 単元の目標

- ・今までの学習を想起し、高月町の魅力（歴史・文化・食・偉人・特産品など）について再認識して調査活動を行い、理解を深める。また、後世に残したいことや観光客に知らせたいことをまとめ、伝えたい相手を意識して発信することができる。（知識及び技能）
- ・今まで学んできた高月町について思い起こし、高月町の魅力として再度調査したりまとめたりする活動を通して、自分たち故郷のよさを再認識し、観光客に魅力を発信するポスターを作成したり、市役所観光課に高月町の魅力をアピールするプレゼンを作成したりして学びを発信することができる。（思考力・判断力・表現力等）
- ・高月町の魅力を発信したいという思いをもち、今までの学年での学びを意欲的に再構築したり、まとめたりして、進んで高月町の未来について考えようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

3. 単元について

（1）教材観

本単元では、3～5年生までの総合的な学習の時間の学びを総括し、「高月町の魅力を発信しよう！」と目標を設定し、観光客や市役所観光課、高月町住民などを相手とした「ポスターづくり」「プレゼンテーションづくり」を教材として取り上げる。

高月町は「観音の里」として、寺院が多い地区であり、寺巡りが行われている。また、朝鮮通信使に関わった「雨森芳洲」、ヤンマー創設者「山岡孫吉」、西野水道を掘り洪水から人々を救った「西野恵荘」など、歴史的な業績を残した偉人がいる。また、「高月スイカ」「メロン」「湖北米」と特産品で地域を盛り上げようとしている方々もいる。

本単元において、これらの学びを有機的に結び付け、6年生で学ぶ「公共」「政治」と絡めて、高月町の未来について思案を進めることができると思う。高月町をどのような街にしたいのか子ども達と共に考え、必要に応じて、市役所観光課や土木事務所と連携をとり、意見交換を行ったり、自分たちの思いを伝えたりする。これらの活動を通して、コミュニケーションする力の向上が図れると期待する。

（2）児童観

本学級の児童は、3年生の時に「地域自慢」として故郷高月のよさについて調べている。4年生では、地域のために働いた偉人について、5年生では高月の豊かな自然に目を向けて学びを進めている。これらの活動の終末には、学習をまとめる壁新聞づくりについて学んでいる。そして、昨年度は

高月小学校創立150周年の節目の年ということもあり、自分たちで150周年を盛り上げようと高月小学校の歴史や校歌の歌詞の意味を調べたり、マスコットキャラクターを作成しようとアイデアを出し合ったりと、仲間と話し合い、必要に応じてインタビューを行ったりアンケートをとったりしながら学ぶ活動に、意欲的に取り組むことができていた。

自分たちでアイデアを練り合える学級だからこそ、本単元を設定する意義は大きいと考えている。それは、学び考えたことを学校外へ発信し、まちづくりへの意見を出し、社会の一員としての自覚を高める契機にできると期待するからである。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、社会科で学んだ公民「市政」と結びつけていくことが大切となる。その点を頭に、西浅井町農業を中心に盛り上げようと活動している青年たちの取り組みを紹介する。高月町について学んできたことを確認しつつ、未来の高月町について具体的に話し合わせることを通して、まちづくりについての課題をつかませたい。そして、自分たちの思いを市へ届けることをゴールに設定し、学びへの意欲を高めたい。

次に、高月町の魅力について再確認する。必要に応じて、見学やインタビューを計画したり、講師を学校に招いたりして理解を深める。自分たちの学びを発信するのは観光客や市役所員であること、その上で自分たちの思いを伝えることを常に確認する。自分たちの好みではなく、未来に必要なものであるのかの視点を大切に、働く人の思いや先人の願いをくみ取れるようにする。

そして、学んだことをポスターやプレゼンテーションにまとめ、駅やスーパーに掲示いただいたり、観光課の方に報告したりする機会を設定する。自分たちの思いを伝える相手があり、相手の反応があることで学びのふり返りができると考える。思ったように伝わらないこともある。その場合は、今後どうするとよいのか次年度への申し送りとして下学年に思いが託せるようにしたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…高月に住む人々がお互いに関わり合って生活していること、市が人々のことを考えて仕事をしていることに気付く。また、文化を継承したり、地域で活躍する企業があることに目を向け、人々の思いに目を向けたりすることができる。

連携性…仲間と協力して課題を解決しようとし、自分たちで決めためあてを達成できるように取り組みを進めることができる。

責任性…自分たちの町は自分たちが引き継いでいこうとする思いを高めたり、生活をよりよくしていくのは自分たちの仕事であることを認識したりできる。

・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

未来をよそくして、計画を立てる力

当たり前で過ぎてきた高月の町は、いろいろな人々の思いがあって発展していることを知り、高月をよりよくするために自分たちにできることを考え、実践につなげる態度を育む。

多面的、総合的に考える力（システムズ・シンキング）

文化、地域産業、地域の偉人、高月に住む人々、いろいろな人の思いが重なり合い、今の高月町があることに気付く。その上で、自分たちも高月町の一員として、どんな町にしたいのか何ができるのか考える素地を養う。（社会科の政治について関連して考える）

コミュニケーションを行う力

高月町について学び、自分の思いをグループで伝え合いながら、これからの高月町について、みんなで考えていくことができる。また、校外の方々と交流することができる。

他者と協力する態度

調べ学習では、グループで作業を分担したり、得られた情報を共有したりする活動を通して、目標に向かい協同する精神を育む。

・本学習で変容を促すESDの価値観

人権、文化を尊重する。

高月の人々が守ってきた「観音」や地域の偉人について学ぶ中で、人々の観音への思いや先人の願いを知り、自分たちにもできることがないかを考えることができる。

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

当たり前で生活している高月の町が、いろいろな人々とのつながりの中で支えられていることに気付き、故郷への思いを高めることができる。また、故郷のよさを再認識できる。

・達成が期待されるSDGs

8 経済成長と雇用

11 まちづくり

12 生産と消費

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①高月町の魅力（歴史・文化・偉人・食・特産品など）について理解している。	①得られた知識を総合的にまとめながら、まちづくりについての意見を考えることができる。	①自分の故郷「高月町」への思いを高め、進んで調査活動に参加したり、得られた情報をまとめたりしようとしている。
②調査したり、調べたりしたことや仕事をしている人、先人の思いを取り入れながらまとめ、自分の高月町についての願いや考えを発信することができる。	②自分の意見に説得力をもたせたり、思いを伝えるのに必要な情報を取捨選択したりして、ポスターやプレゼンテーションを作ることができる。	②働く人々の思いや先人の願いを知り、高月町の未来のために、自分たちにできることはないかと考えようとしている。
	③相手を意識して、資料をまとめたり発表したりできる。	③まなんだことを聞き手に納得してもらえよう取り組んでいる。

5 単元の指導計画（全30時間）

	学習活動	○学習への支援	○評価 ・備考
みつめる	<p>1 高月の魅力を再確認する。【魅力の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観音様が多いよ。 ・高月スイカって聞いたことある。 <p>2 高月をもっといい町にしていくために何ができるか考えてよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の人に知らせたい。 ・駅にチラシを置きたいな。 	<p>○今までの学年での学びを思い起こし、高月町のよさに目を向けられるようにする。</p> <p>○西浅井町の取り組みを紹介し、学習のゴールがイメージできるようにする。</p> <p>○自分たちにできることは何があるか具体的な案を出せるようにする。</p>	<p>ア① (知技)</p> <p>ウ③ (主体的な態度)</p>
しるべ	<p>3 発信したい魅力について詳しく説明できるように調べ学習の計画をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客が少ないのはどうしてかな？ ・市役所の取組について話を聞きたいな。 <p>4 調べ学習を行う。 特産館や市役所、農家さんなどとの交流が必要なら行う。</p> <p>5 調べ学習についてまとめる。</p>	<p>○市役所と連携し、市の取組や考えが聞ける場を用意する。</p> <p>○高月町に分譲地ができていることについて市の人から話を聞く。</p> <p>○インタビューや施設と交流できるように連絡の取り方を支援する。</p> <p>○タブレットを使って整理するように伝える。</p>	<p>ア② (知技)</p> <p>ウ② (主体的な態度)</p>
ふかめる	<p>6 得られた情報を整理し、未来の高月について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お米を作っている人の話を聞いて、自然豊かなところで作っている湖北米を広めたいと思ったよ。 ・高月は、お店や仕事場が多くて、人が集まりやすい場所だと分かった。 ・高月の歴史を県外の人にも知ってほしいし、自分も大切にしたい。 	<p>○自分はどうのような高月町になってほしいか、聞いてきた人々の思いと重ねて考えられるようにする。</p> <p>○必要に応じて、再度学校に施設の方を講師として招くなどして、一緒に思いを練り上げていけるようにする。</p>	<p>ウ① (主体的な態度)</p> <p>イ① (思判表)</p> <p>ア① (知技)</p> <p>ウ② (主体的な態度)</p>
ひろげる	<p>7 発信したいことを整理し、ポスターやブレゼンにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光に来る人が知りたいことって何か。その視点でまとめよう。 <p>8 ポスター掲示を依頼したり、市役所の人に話を聞いてもらったりして学びを発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高月のよさが広げられるといいな。 	<p>○聞く人や伝えたい人を意識して情報を取捨選択するように指導する。</p> <p>○展示したり、発表したりして得られた反応から、自分たちの学習をふり返る。課題が残った場合は、追加で学習を継続したり、次の学年に引き継いだりするなど、発展できるように支援を行う。</p>	<p>ア① (知技)</p> <p>イ② (思判表)</p> <p>ア② (知技)</p> <p>イ③ (思判表)</p> <p>ウ③ (主体的な態度)</p>

